

水 土 里

み

ど

り

ashikaga mi do ri tanteidan

創刊号 ● 平成14年11月発行

NPO法人 足利水土里探偵団

〒326-0801 栃木県足利市有楽町835 足利商工会議所北事務所内
TEL 0284-41-1354・FAX 0284-44-0377

あいさつ

理事長 中村 衛一

足利EM普及探偵団は、発足当初より足利商工会議所・足利市をはじめ多くの関係者各位のご理解とご支援を戴きながら普及活動を続けて参りました。

その実績をもとに更に連携を深めながら、実践活動をする事を念頭に今春NPO法人(特別非営利活動法人)足利水土里探偵団に改組したところです。

これを機会に探偵団の活動内容などを定期的に情報発信して参りたいと思います。

つきましては、皆様からの積極的な情報(提案・要望・質問など)を戴き、一緒になって考え共に行動し

活動の輪を広げ、循環型社会の実現を目指し、相互の意思疎通の場として役立つ紙面になりますことを願って、皆様方のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



理事長



下野新聞 記事 平成14年10月21日

情報誌発行などを承

NPOが市民ネット設立

【足利】市内の民間非営利団体(NPO)などが情報交流などを図る市民ネット「NPOコンソーシアム足利」の設立総会が十九日、市民会館で開かれた。足利NPOフォーラムの鈴木光尚代表理事を会長とする役員入事案が了承されたほか、記念公演が行われた。



本年度事業などが了承された設立総会

「個人で行うボランティアと違い、スキルを磨き、資金を効率的に調達するといったマネジメントが必要」などと、NPOの経営感覚の必要性を強調した。

【足利】市内の民間非営利団体(NPO)などが情報交流などを図る市民ネット「NPOコンソーシアム足利」の設立総会が十九日、市民会館で開かれた。足利NPOフォーラムの鈴木光尚代表理事を会長とする役員入事案が了承された。その後、佐野短期大学の國分三郎教授が「NPOと起業家精神」と題した講演を行った。

理事は「それぞれのNPOが専門性と柔軟性を持ち寄り、地域の活性化につなげる」と意気込みを述べた。

足利水土里探偵団の名称説明

(活動分野をイメージ)

- 足利……活動地域をアピール
- 水……きれいな水
河川浄化
- 土……土地が肥えて作物がよくとれる
家庭菜園
- 里……さと・むら・まちおこし
地域普及活動
- 探偵団…環境汚染を
犯罪とみなして探偵する

産・学・官・民との
パートナーシップで
協働を育む

渡良瀬川をきれいにしましょう！からはじまった活動

事務局長 中庭 三夫

EM普及探偵団の発足と時を同じくして、足利市が導入したEMストッカーの補助金制度は、台所から家庭への普及に弾みがついた。学校の給食の食べ残しを堆肥にしてケナフの栽培と紙スキ学習。プールを活用しての米のとぎ汁発酵液によるピオトープづくりで、春にはたくさん生き物との出会いの体験、毛野小学校大久保分校の児童と一緒に感動したのは平成10年の初夏。4年後に導入されることになっていた「総合的な学習の時間」への試行的な取り組みであった。

一方、南大町の給食会社では、汚染源になる米のとぎ汁をEMで大量に発酵させて矢場川に放流し浄化活動を開始した。今の矢場川浄化作戦のはしりである。社会を構成する多くのみなさんと一緒になって取り組む方向を模索しながら「産・官・学・民で取り組むコンセプト」で矢場川浄化作戦はスタートした。EM培養装置「※100倍利器」の設置に協力してくれた(株)紅三は、今では活動の重要な拠点となっている。

※……温度・攪拌を自動的にを行い、確実な培養ができる装置

また、平成14年からは総合的な学習の時間も導入され、環境教育と河川浄化に本格的に取り組んだ。幼・小・中・大の彦谷川沿線の学校が連携してのコンセプトで、葉鹿小学校の児童や東光寺幼稚園児が家庭との連携で、米のとぎ汁発酵液やEM泥団子を投入して魚をたくさん増やそうと「彦谷川ピオトープ作戦」を展開した。6月にはホタルが増えたと自治会長さんから学校への一報は多くの人を集め楽しませた。

こうした事例を、千葉商科大学で開かれた今年度の環境共生学会学術大会で葉鹿小学校の児童が発表した。内容は別掲の通りである。

こうして、産・官・学・民の連携、とりわけ川沿いの学校の連携にはそれぞれのPTAや地域が連携して支援しており、今では学校側の主導レベルの高さに私達も真剣である。いずれにしても、足利の背後は全て山、そこから16本の一級河川が渡良瀬川に流れ込んでいる。「上流にはサワガニ・下流はヘドロ」いずれの川も同じパターン。

川の浄化活動を通して観察すると、人間の生活排水が如何に川を汚染しているかはっきりと見えてくる。彦谷川の生態系調査から浄化活動に関わった、葉鹿小の児童は汚染の変化をきっと実感したことと思う。

お菓子屋さんの甘い廃棄汁はEMの大好物。リサイクルに大いに役立っている。廃棄されている有機物、河川の臭気や汚染の状態を探偵し、EMを活用した浄化活動の輪を地域に広めたいと願っている。

そして9月から、上渋垂町5号排水路のヘドロと臭気の減減作戦を開始した。足利市が市民からの臭気クレームとヘドロ除去に頭を痛めていた。上流部に300リットルタンクを2基設置し現地培養しながら毎日大量に放流している。目に見えた成果に足利市の担当課もこの方式を本格的に検討する方向になっている。

すべての汚染は川に注ぐ、土の汚染も水になって川に流れていく。未来を生きる子供たちと一緒に「川があれば魚がいた・昔の川の世界」をたどり、山や川の豊かさは足利市のまちづくりの基本財産としての認識を多くのみなさんと確かめ合えればと思っている。足利のEM普及活動は川の浄化と学校との関わりが多いのは何故か?と各地で聞かれる。

足利市は「日本最古の総合大学の足利学校」の史跡をもち、また、**渡良瀬川**は残念ながら日本で最初の公害の川、だから、学校教育と河川浄化は自然の結びつきなんです。と、答えている。

日本環境共生学会第5回学術大会において

小学生が発表

平成14年9月28日(土)千葉県・千葉商科大学に於いて開催された「地域協働プロジェクトとしての生物による川の浄化」、この学術大会は大学や企業の専門的な研究発表大会であった。今年から小中学校の環境学習の実践活動を研究に反映させるべく、第一回目の発表に足利市立葉鹿小学校が指名され、その

児童と保護者(20名)出席した。環境学習での彦谷川浄化に関する実践活動の発表を行い、会場からは大拍手をもらい大変好評だった。その他各地域からも生ゴミの堆肥化や河川の浄化に関する実践活動の発表があった。足利水土里探偵団からは2名が同行した。(山崎)



家庭菜園あれこれ

愛菜園コーナー

菜園のはじまりは、EMによる生ゴミ堆肥の利用と無農薬野菜の栽培を希望する人が集まり堀込・小俣地区からスタートした。

巨大な白菜のEM栽培で有名な江川町のTさんに10月の畑の様子を伺いました。白菜・ホウレンソウ・チンゲン菜と小松菜が育ってきたので間引き苗を食べはじめたそうです。

専門誌「EMでいきいき家庭菜園」に掲載されていた通りに今年からホウレンソウを筋蒔きにしたところ、播種の際の覆土も間引きも大変楽になりま

した。今までは平面に蒔いていたので、平均的に覆土するのにとても苦労されていたそうです。

又、いつか育てたいと思っていた念願の、一片が約100グラム位のジャンボニンニクを含め、播種したニンニク達の芽が、無臭ニンニク、普通のニンニク、ジャンボニンニクの

順番に出て、順調に伸びていた。

(黒子)



EMサロンで

生ごみ堆肥作りを基礎から伝授!

- ①開催日時 毎月第2土曜日
午後1時半より4時まで
- ②開催場所 旧相生小学校 調理室
- ③目的
 - ★生ごみの堆肥化・
ストッカーの正しい使い方
 - ★米のとぎ汁発酵液の作り方
 - ★ポカシづくり体験講習
 - ★体験発表・質疑応答・
最新技術の紹介
 - ★EM関連資材・資料の販売



EMいはじめて! という方々も含め、毎回約20～30名の参加者を迎えています。実際の生ごみを使った実演に、「ああ、そうやるのね～」という納得の音が聞こえます。失敗しないEM生ごみ堆肥づくりのポイントをご紹介します!!(須藤)

販売のお知らせ

資材の販売

- 1.生ごみ処理容器(ストッカー)を
足利市の補助を受けて斡旋しています。
 - 2.EMIほかし“銀河”600グラム
 - 3.EM-1(1リットル)
 - 4.糖密(1リットル)
 - 5.EMX(500cc)
 - 6.EM情報誌“エコ・ピュア”
- 取扱い** わたらせ御用聞き
足利水土里探偵団
TEL0284-41-1354

EMで育てた完全無農薬の米を販売します。

品種:旭のゆめ玄米10キロ 3,500円
古代米(黒米・赤米)500グラム 1,000円

古代米にはポリフェノール、タンパク質、各種ミネラル・ビタミンが豊富。老化防止に最適!大和朝廷や中国宮廷にも献上されていました。お米をたくときに、少量を混ぜてください。

申込受付 090-8740-4547 中村
090-2476-8305 山崎



EMとは?

(Effective Micro-organisms)

の略称で、有用微生物群の意味、琉球大学農学部の前比嘉照夫教授が農業用の土地改良材として、液体で培

養したもの。成分は、自然界に存在する微生物群の中から、人体に無害で作物生産に有効な菌体十属八十種余りを選びだしたもので、これらは大きく乳酸菌・酵母菌・放線菌・光合成細菌の四つに分類される。

●水土里ちゃんから一言●



◎わたしはイメージキャラクター“水土里ちゃん”です。これから皆様と「きれいな水」「きれいな地球」のために楽しく活動していきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い♡

◎ようやく待望の情報誌を発行することができました。

◎それから編集委員の紹介をします。

中庭 三夫・山崎 泉・須藤 弘子・黒子富美恵・内田 芳江・大塚 久子・石井 章江の皆さんです。

◎また、会員を募集しています。皆さんと楽しい会に育てていきたいと思ひますので入会しませんか!(石井)